

広島コミュニティ

島観光の立て役者たち

広島コミュニティでは、島内の観光名所や島の歴史などを伝えるガイドマップなどを作成することで、広島の魅力をもっとPRする取り組みをしています。

4人で始めた島の案内所

広島の玄関口、江の浦港の待合所には「島歩き案内所」があります。毎週土・日曜に開かれ、手作りのお土産を販売したり、ガイドマップを配布したりしています。平成24年頃から続くこの案内所は、「島のことを知ろう」と、4人の女性が行動を起したことをきっかけに始まりました。観光客向けに、島の歴史や魅力を伝えるガイドマップを作成したのもそのうちのひとつです。

島の魅力を再発見

数か月かけて広島、手島、小島の各地区を現地調査し、地元の人から聞いた話や資料をもとに、平成26年に「HOTな島歩きマップ」を完成させます。ガイドマップに加えて、美大生の描いた昔ばなしの絵本や、各島の山めぐりマップなど、今までに4つの冊子を制作。島を訪れた観光客が手に取るだけでなく、島を出た人からも「島の思い出としてほしい」と問い合わせがあるそうです。

コロナ後の観光に向けて

こうした活動は、新型コロナウイルスの影響で、一時的に中断されました。毎年夏に開催される美大生たちと交流するHOTサンダプロジェクトも昨年からは受け入れを中止。「島の人たちも元気をもらっていたイベントなので、とても寂しいです。イベントを通じた交流はしばらくありませんが、再開したとき、変わりなく出迎えられるようにしておきたいです」とコミュニティ会長の平井さんは話します。

多くの人がまた来てくれることを案内所も期待しています。「各地区には、島民にもまだ知られていない魅力がたくさんあると思います。コロナが収まったときには、ぜひ堪能してほしいです。その時が来るまで、PR活動などをがんばっていききたいですね」。

塞ぎ込む時代の中でも、未来に向けた広島コミュニティの活動は続いています。



広島コミュニティ会長
平井 明さん

2年前、せとうち備讃諸島「石の島」のストーリーが日本遺産に認定されたことで、このチャンスをもっと島のPRにつなげようと考えました。

そのような中、コロナ禍により、島の活動も足踏み状態が続いているといった雰囲気は拭えませんが、コロナ終息後を見据えた準備期間として捉えています。

島民の皆さんの協力をはじめ、島の将来を応援・支援してくれる団体や企業の助けも得ながら、広島・小手島・手島の、新たな魅力創出や再発見に努めていきたいと思っています。



元は島外出身の皆さん。広島が好きで島の将来のためにPR活動を始めました



昔ばなしの絵本はマルタスでも閲覧可能です